



# こけし 絵付け 体験



登別は、伊達政宗の右腕・片倉小十郎の末裔が明治期に切り開いた土地。登別伊達時代村はその開拓精神を今に受け継いでいます。

伊達家重臣・片倉氏の城下町である宮城県白石市は、日本伝統の木製人形「こけし」の名産地。

登別伊達時代村では、ミニサイズのこけしに自由に絵付けをして楽しめる体験プログラムをご用意しております。お好きな色や模様を彩られた、かわいい忍者や町娘のこけしは、きっと忘れられない修学旅行の思い出の品になるでしょう。



「町娘」か「忍者」お好きなこけしを選んでください。

顔などを元から描いてあるこけしを使用しますので、誰でも簡単に絵付けを楽しめます。



好きな色を自由に塗ってください。

模様や文字なども描いて自分だけのオリジナルこけしを作りましょう。



作業時間  
約 **40分**

職人が、ニス加工・金具の取り付けなどの仕上げをいたします。



できあがり / 修学旅行のお土産にぴったり！  
金具はキーホルダーと根付の2タイプから選べます。

※ 完成作品は後日発送いたします。